

中学校 1年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 大単元 「 心身の機能の発達と心の健康 」 小単元 (心の発達(2)社会性の発達)

2 単元について

小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通などを学習している。また、心も体と同様に発達し、心と体には密接な関係があること、不安や悩みへの対処などを学習している。

ここでは、健康の保持増進を図るための基礎として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解できるようにする必要がある。また、これらの発達の仕方とともに、心の健康を保持増進する方法についても理解できるようにするとともに、ストレスへの対処ができるようにする必要がある。さらに、心身の機能の発達と心の健康に関する課題を見出し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようになることが必要である。このため、本内容は、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心取り上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖に関わる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であること、さらに、精神と身体は互いに影響し合うこと、心の健康保つには欲求やストレスに適切に対処することなどの知識及びストレスへの対処の技能と、心身の機能の発達と心の健康に関する課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を中心として構成している。

3 単元の目標

| | |
|---------------------|---|
| 知識・技能 | 健康な生活と疾病の予防、心身の発達と心の健康について、問題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解することができるようとする。 |
| 思考力・判断力・表現力等 | 健康な生活と疾病の予防、心身の発達と心の健康について課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現するようとする。 |
| 学びに向かう力・人間性 | 健康な生活と疾病の予防、心身の発達と心の健康について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようとする。 |

4 生徒の実態と指導観

アンケート結果を見ると、本学級では体育の授業が好きな人は90%を超え、多くの生徒が好意的に捉えている。保健分野についても、好きと答える人が75%を超え好意的に捉えられている。しかし、生徒のだいたいが意欲的に取り組んでいるが「つまらない」「わからない」ときがあると捉えている人も少なくない。授業の雰囲気は落ち着いており、学習意欲が高く明るい雰囲気のなかで授業に取り組もうとする様子が感じられる。全体の仲が良く、話し合い活動も活発である。しかし、発表する人が限られてきているなど、自己表現が苦手な生徒や活動に対して消極的な面が見られる生徒がいるという課題があ

る。

社会性の発達の学習では、身近にある課題について、学習した知識とともにこれまでの自分自身の経験や仲間の意見等も参考にしながら自分の考えとしてまとめ、今後の改善点を見つけ、課題解決が図られるようにしていきたい。心の発達急進期にあたる思春期の生徒たちが今後、より良い心の成長を遂げられていくために、生活経験と照らし合わせながらしっかりと指導していきたい。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

| 健康安全への知識・技能 | 健康安全についての思考力・判断力・表現力等 | 健康・安全について、主体的に学習する態度 |
|---|---|---|
| <p>身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。</p> <p>思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。</p> <p>知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。</p> <p>精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身に付けている。</p> | <p>心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> | <p>心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> |

6 指導と評価の計画

| 時間 | 主な学習内容 | 知識 | 思・判・表 | 学び |
|----|------------|----|-------|----|
| 1 | 体の発育・発達 | | | |
| 2 | 呼吸器・循環器の発達 | | | |
| 3 | 生殖機能の成熟 | | | |

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 4 | 性とどう向き合うか | | | |
| 5 | 心の発達（1） 知的機能と情意機能の発達 | | | |
| 6 | 心の発達（2）社会性の発達 ・社会性は何によって発達するだろうか。 ・親や周囲の大人との関係はどう変化するのだろうか。 ・友達との関係はどう変化するのだろうか。 | ○ | | |
| 7 | 自己形成 | | | |
| 8 | 欲求不満やリラクセーションの方法 | | | |

7 本時の展開

① 本時の目標

- ・社会性の発達について理解しよう。
- ・自分の気持ちを上手に伝える方法について、実習を通して考えよう。

② 展開

| 段階 | 学習活動【 学習内容 】 | 指導上の留意点 ◇評価 |
|----------|---|--|
| 導入 8分 | ○挨拶、出席確認 ○前回の復習 (知的機能、情意機能の発達について) ○身近な友達や先輩で大人だなと思った言動や行動があったか考える。 ○社会性につなげる | ○出席確認の際に、体調を確認する。 ○ワークシートを配る。 ○例えば、クラスでみんながやりたくない係や仕事を嫌な顔せず、積極的にやってくれた。など具体的な例を出して、隣の人と会話しながら考えさせる。 ○ワークシートに記入させる。 ○教科書4 5ページ資料③ [各器官の発達の仕方]を見るように言う。 今（中学1年生 12～14歳）が最も神経を発達させる最後のチャンスであることを理解させる。 |

| | | |
|---------------|--|---|
| 展開 25 分 | 【社会性は何によって発達するだろうか】 | 発問1：社会性と聞いて何を思い浮かべますか？ |
| | <p>○グループになって考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 予想される生徒の反応： 先生や友達の話をよく聞く 黒板を消す </div> | <p>○グループで話し合いをさせる。 ○付箋を渡し、出たものを書かせる。 ○グループの代表者に書いた付箋を貼らせる。 ○出してもらったものを見ながら、社会性の中の自主性、協調性、責任感のどれに当てはまるのかそれぞれ分ける。 ○振り分けたものをワークシートに書かせる。 ○社会性は人との関わり、生活経験によって発達する事を理解させる。 ○話し合いで出たものが社会性の発達につながる事、導入で話し合った行動のことも社会性があるという事を伝える。</p> |
| | 【親や周囲の大人との関係はどのように変化するのだろうか】 | 発問2：親や周囲の大人に対して「子供扱いしないでほしい」「一人の人間として認めてほしいと思ったことはありますか？ |
| | <p>○個人で考え、ワークシートに記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 予想される生徒の反応： 門限がある もうちょっと大きくなってからねと言われる </div> <p>○自立に向けた変化について個人で考える。</p> <p>○自立と社会性の発達は関係している</p> | <p>○ワークシートに記入させる。 ○生徒がどのような事を書いているのか確認しながら机間指導する。 ○挙手をさせ、数名に発表させる。 ○思春期の時期に起こる第二次反抗期について説明する。 ○甘えたい気持ちと自立したい気持ちの間で揺れ動いたり、親や大人に口答えしたり、無視してしまったりすることもあるが、それらは自立しようとする心が育っている表れである事を理解させる。</p> <p>○小学校低学年の自分と今の自分について考える。 ○例1家での場面、例2学校での場面を想定してワークシートに記入させる。 ○例から社会性が育つ大切さがどう自立につなが</p> |

| | |
|---|---|
| <p>事を理解する。</p> <p>【友達との関係はどう変化するだろうか】</p> | <p>ていくのかを理解させる。</p> <p>自立とは、1人で判断、決定し、実行することではない。周囲の人に相談してアドバイスをもらったり、時には頼ったりするなど、社会と適切に関わりながら主体的に考え行動することが、本当の自立である事を伝える。</p> |
| <p>発問3：今と昔で友達との付き合い方で変化したことはありますか。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○個人で考える。 <p>予想される生徒の反応：</p> <p>小学生の時は男女仲良くドッジボールで遊んでいたけど無くなった。 賛成しなかったら、陰で言われそうだと思ってしまうようになった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○個人で考えさせ、今までの友人関係を振り返させる。 <p>○困ったときは1人で悩まず信頼できる人に相談することを伝える。教科書65ページ「心と体のSOS」について考えを深めさせる。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ○自分の気持ちを上手に伝える方法を考えるための実習を行う。 ○伝え方のポイントを伝える。 ○グループごとに教科書57ページの4つの場面の中の1つを選びディスカッションを行う。 ○各グループの代表者が場面と出た意見を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○4つの場面を提示し、グループごとに選ばせる。 <p>場面1 友達が自分の考え方や希望と違う意見を提案してきたとき 場面2 仲間に加わりたいとき 場面3 大勢の中で違う意見を言いたいとき 場面4 メッセージのやり取りを終えたいとき</p> <p>○ワークシートに場面とどのように伝えるのか書かせる。</p> <p>○ホワイトボードを各班に配布し、グループでまとめた意見を書かせる。</p> <p>○机間指導を行い、話が進んでいないグループに対してアドバイスを行う。</p> |

◇知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成

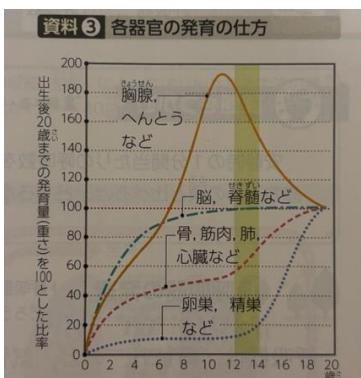
| | |
|------------------|---|
| | <p>がなされることを理解している。〈知識〉 〈A評価とするポイント〉</p> <p>グループの話し合い時に自分の意見を積極的に発言したり、グループ内の他の人の意見もしっかりと聞き、考えることができている。</p> <p>〈C評価とするポイント〉</p> <p>本時の学習を踏まえて、習得した知識を自分事、日常生活を想定して捉えることができず、具体的にワークシートに記入することができていない。</p> <p>〈努力をする生徒への手立て〉</p> <p>机間指導を行い、グループの話し合いにうまく参加できていない人に声をかけ、意見を聞くように促したり、意見を言えるように説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの上手に伝えるポイントがあったら、ワークシートの余白に書かせる。 ○友達や周りの人との関係づくりで大切なことは、相手の気持ちを尊重しながらも、自分の気持ちを上手に伝える方法を身につけておくことである事を理解させる。 |
| まと め | <ul style="list-style-type: none"> ○社会性は年齢とともにさまざまな経験をすることによって発達する。 |
| 1 2 分 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業の感想、振り返り 自分が社会性を発達していくために、自分自身の課題と今後の改善点についてワークシートに記入させる。 ○次回の予告、説明 ○挨拶 |

8 板書計画

| | | | | | |
|--|-------------------|----------------------------|-----|--|-----|
| 単元名 本時の目標 | 発問2 自立の説明を図で書く | 発問3 伝え方のポイント グループワーク | | | |
| 発問1 <table border="1"><tr><td>協調性</td><td>自主性</td><td>責任感</td></tr></table> <p>↑付箋を貼る</p> | 協調性 | 自主性 | 責任感 | | まとめ |
| 協調性 | 自主性 | 責任感 | | | |

9 資料

- 教科書 P45 資料③各器官の発育の仕方



掲示物1 (自分の気持ちを上手に伝えるための実習 4場面)



掲示物2 (伝え方のポイントについて)

| 伝え方のポイント | |
|----------------|-----------------|
| 〈言葉で〉 | 〈表情や身振りで〉 |
| 理由を言う 代案や条件を示す | 相手のほうを向き、目を見て話す |
| 自分の感情、意見、権利を言う | 態度やしぐさ 言葉遣い |
| | 話すスピード 声の大きさ |
| | 表情・身振りを付けて |

【第2章 心身の発達と心の健康 6 心の発達（2）社会性の発達】

年 組 番 名前

1、身近な友達や先輩で大人だなと思った言動や行動について

自分の考え方

他の人の考え方

2、社会性（自主性、協調性、責任感）とはどのようなものがあるのか。

自主性

協調性

責任感

3、自立に向けた変化について

(例1 家での場面)

(例2 学校での場面)

4、親や周囲の人に対して「子供扱いしないでほしい、一人の人間として認めてほしい」と思ったこと

5、グループワーク〈場面　　〉

6、まとめ

（自分が社会性を発達していくために、自分自身の課題と今後の改善点について、感想等）